美しい水との豊かな暮らしを提案する情報誌

新水生活 vol.16

OSG ココロとカラダでここからだ！ 上場25周年 精熱56周年

創立55周年記念事業3大イベント

大阪・関西万博 ／ 創立 55 周年記念式典 ／「ステハジ」EXPO 2025

＜SPECIAL INTERVIEW＞GREEN×EXPO 2027　＜Sutehaji Journal＞
＜水の OSG＞八女市役所 / 福島市上下水道局 / 栃木市役所 保健福祉部 健康増進課 / 大和リース株式会社 関西工場・滋賀水口デポ
グリーンアリーナ玉手山 / 直方市消防本部 / ツルハドラッグ / ユニー株式会社（アピタ・ピアゴ）/ 紋別市教育委員会
樟蔭中学校・高等学校 / 中央大学 多摩キャンパス　＜お久しぶりです、OSG です＞　＜おたより広場＞
＜ウォーターネット共創＞第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025 / わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025
＜衛生の OSG＞琉球大学　医学部先端医学研究センター / 南州高山ミートセンター / OSG 国際防疫獣医学寄付講座
＜食の OSG＞銀座に志かわ / SAKImoto bakery / 元祖五十番神楽坂本店
＜海外＞ Ildong Healthcare Co.,Ltd （日東製薬）/ ERNST ASIA PACIFIC PTE. LTD.
＜NEWS & TOPICS＞ OSG のサステナビリティ
＜SDGs 共創報告＞ HEROs PLEDGE / Iwata Seaside DREAM Fes 2025

マイボトル『給水』が新たな選択。

株式会社 OSG コーポレーション
［グループ企業］ 株式会社 OSG ウォーターテック ／ 株式会社ウォーターネット ／ 株式会社銀座仁志川 ／ 株式会社 D&D ／ 株式会社 SakimotoBakery
［本社］〒530−0043 大阪市北区天満 1-26-3 OSG 本社ビル TEL:06-6357-0101 FAX:06-6357-0106
お問い合わせ先 0120-065-631
受付時間 9:00〜18:00（土日祝祭日・年末年始・夏期休暇は除く）

ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C011700
VEGETABLE OIL INK

ステハジ® PROJECT

使い捨ては、恥ずかしい

次の「EXPO」は、横浜だ！

さあ、みんなで サステナブルはじめよう！

「ステハジ」EXPOが今年もやってくる

「ステハジ」EXPO 2026
会場：ぴあアリーナ MM

ぴあアリーナMM

OSG 「ステハジ」プロジェクトの取り組みは ►

創立 55 周年記念事業
3 大イベント

Expo 2025
Osaka, Kansai, Japan

EXPO 2025 大阪・関西万博

一般来場者数は 2,557 万 8,986 人を記録

給水が新たな選択へ

大阪・関西万博ではOSGのエブリィ、エブリィスリム、IDOVA、バリアブル、ウォーターサーバーの5製品が52ヶ所に給水スポットとして設置。万博のコンセプトである「未来社会の実験場」にふさわしい取り組みとなりました。来場者・運営スタッフの皆様により〝給水〟が当たり前の選択肢として根づき、持続可能な行動を促すレガシーの一つとして残せたことが、「ステハジ」プロジェクトに取り組む私たちOSGとしての、大きな誇りです。期間中は非常に多くのメディアにも取り上げられ、大変大きな反響をいただきました。

People's Living Lab
未来社会の実験場

WATER STATION

開催期間
2025年4月13日
～10月13日

給水回数 12,065,111 回　CO_2削減量 約978,480 kg

大阪・関西万博の会場内に設置した給水機で給水回数を計測致しました。
来場者や運営スタッフの皆様が「"給水" を新たな選択」として実践されたサステナブルアクション（給水回数・CO_2 削減量など）は給水回数 1,200 万回を突破、CO_2 削減量は約 97 万キログラムとなりました。
万博で体験した新たな選択が、未来の当たり前になるよう今後も「ステハジ」の輪を広めて参ります。

OSGのSNSで広がった "給水スポットの輪"

TikTok を開設し、給水文化を広めるためにさまざまな動画を発信しました。再生回数が 15 万回を超える動画も生まれ、マイボトルが万博の必需品という認識を SNS 上で広げるきっかけとなりました。

給水パビリオンと化した 給水スポットは非常時でも大活躍

暑さの中で水分補給を求める来場者が次々と集まり、給水スポットには長蛇の列が。まるで1つのパビリオンのようなにぎわいを見せていました。また8月13日（水）に発生した交通機関のトラブルにより会場内外で多数の帰宅困難者が発生した問題では、無料給水スポットが〝命の水〟として話題になりました。

「ステハジ」本舗

会場内に設置した給水スポットを来場者や運営スタッフの皆様に快適にご利用いただけるよう、開幕から閉幕までの間、定期的な給水サポートと清掃メンテナンスを社員で実施しました。2人ペアのリレー方式で清掃手順を引き継ぎながら教え合い、メンテナンスに取り組み、多くの来場者、運営スタッフへお声掛けを実施し、お礼のお言葉を多数いただきました。

3つの声掛け

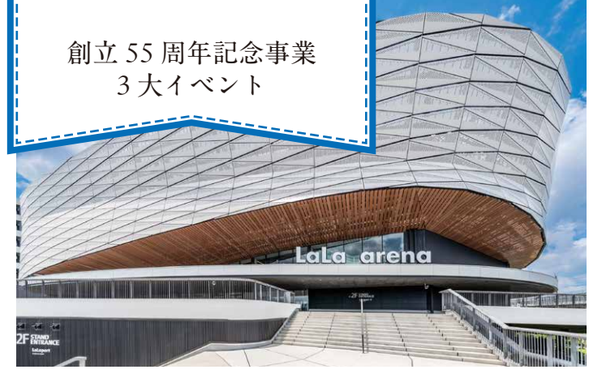
❶こまめな水分補給　❷喉が渇く前の水分補給　❸会場内の給水スポット紹介

日本経済新聞社主催「サーキュラーエコノミー～未来を変える 循環型社会～」に登壇

10月1日（水）大阪・関西万博にてOSGコーポレーション代表取締役社長の山田、総務部 GMの友末、藤本社員が、日本経済新聞社主催「サーキュラーエコノミー～未来を変える 循環型社会～」に登壇。

「ステハジ」の取り組みに加え、給水スポット設置の背景や社会的インパクト、持続可能な社会づくりへの挑戦について、具体的な成果を交えて話しました。

講演の様子はこちらからもご覧いただけます。



「ステハジ」EXPO 2025

ここから生まれる、新たな共創体験を実感

開催日　2025年12月3日
場所　ららアリーナ東京ベイ

テーマは「繋ぐ」「ステハジ」がつなぐ共創イノベーションイベント

創立55周年記念事業の集大成である「ステハジ」EXPO2025。2024年の第一回の開催後、多くのご出展者様、また出展できなかった方々からお声をいただき、第二回目の開催となりました。全国の「ステハジ」共創パートナーである、企業・自治体・プロスポーツ団体など多くのみなさまにご参加いただき、新規事業、サステナブル推進に向けた多様な取り組み、新たな共創体験を実感していただきました。今回もギネス世界記録®への挑戦を行い、マイボトルの写真を1時間の間に756枚アップすることができ無事に認定されました。

特別講演としては元福岡ソフトバンクホークス監督の工藤公康氏、日本人女性初の標高8000mを超える山14座全てを制覇した渡邊直子氏にご講演いただきました。

他にも共創対談としてB．LEAGUEの細井執行役員、千葉ジェッツふなばしの田村代表取締役社長、アビスパ福岡の川森取締役会長にもご登壇いただき、様々な団体におけるサステナブルへの取り組みなどをお話いただきました。

イベントのラストを飾っていただいたのは、よしもと芸人のバンビーノの2人と銀シャリの2人。会場を取り込んだお笑いライブで楽しい共創イベントとなりました。

レジェンドも登場

イベントブースでは、元サッカー日本代表の本田泰人氏をはじめ、石川直宏氏、元千葉ジェッツキャプテンの佐藤博紀氏、岡田優介氏らも登場。サッカーとバスケットボールの見事な共創イベントとなりました。

「One Goal × One Action」
選手からパスを受けた人が得点を重ねていくごとに、環境・社会への貢献につながる体験型プログラムを実施。
多くの参加者で盛り上がりました。

創立 55 周年記念式典

ご招待客 2,000 名、多数のゲストに支えられ閉幕

開催日　2025年8月29日
場所　グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール会場

5年越しの開催 これまでの歩みと未来への方向性をみなさまへ共有

本来であれば、2020年に創立50周年記念式典を開催する予定でしたが、コロナ禍ということで断念しました。ようやくコロナ禍から脱却した2025年8月29日、5年越しに記念式典を開催することができました。2000名のご招待客のみなさまをお出迎えし、日頃の感謝とこれまでの歩み、そしてこれからOSGコーポレーションが向かう方向性などをしっかりと共有させていただき、盛大に執り行うことができました。

来賓代表祝辞

創立55周年を祝う温かい激励のお言葉を頂戴しました。

現 内閣総理大臣
自由民主党
高市 早苗 衆議院議員

元 内閣総理大臣
立憲民主党代表
野田 佳彦 衆議院議員

元2025年日本国際博覧会協会機運醸成局長
堺井 啓公 氏

株式会社三菱UFJ銀行
澤田 実 常務執行役員

株式会社三井住友銀行
磯和 啓雄 専務執行役員

謝恩パーティー

厳かな第一部の式典とはうってかわって、第二部の謝恩パーティーでは社員によるパフォーマンスやサプライズで登場された赤井英和さんのトークショーなどで非常に盛り上がりました。

GREEN ×EXPO 2027 公式ウェブサイトはこちらから

EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN

次の万博、舞台は横浜「GREEN×EXPO 2027」人と自然がともに生きる未来に準備を

2027年3月から9月まで開催されるGREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）。大阪・関西万博に続く一大イベントとして1000万人の有料来場者数が予想されるなど、全国で機運が高まっています。そこで今回はGREEN×EXPO協会サステナビリティ推進部長の見宮 美早（けんみや みさ）さんにインタビューしました。

1都3県で初の万博「GREEN×EXPO 2027」

2025年の大阪・関西万博の盛り上がりを継承し、2027年には神奈川県横浜市で「GREEN×EXPO 2027」が開催されます。1990年に大阪の鶴見緑地で開催された「国際花と緑の博覧会（通称：花博、EXPO'90）」以来37年ぶりとなる、最上位（A1クラス）の国際園芸博覧会として、1都3県では初の万博として注目を集めています。GREEN×EXPOでは花や緑、食と農の魅力に加え、脱炭素など地球環境課題の解決につながる日本の技術を世界に発信します。

GREEN×EXPO協会 サステナビリティ推進部長 見宮美早（けんみや みさ）さんインタビュー

Q1：GREEN×EXPO 2027の開催意義や発信したい内容は？

昨今は気候変動や生物多様性の損失など様々な問題が深刻化しています。長期間に渡って地球システムに負荷がかかるなか、GREEN×EXPOのテーマである「幸せを創る明日の風景」には、森林や水、大気、生物資源など自然資本の多様な価値を再認識し、自然との共生や幸福感を、新たな明日の風景として可視化していくという想いを込めています。まさに「園芸文化の普及・振興」に留まらず、地球規模課題に向けて解決策をみんなで考え、実践する場として社会にインパクトを醸成できればと考えています。昨年の大阪・関西万博では、万博の意義や価値が改めて認知されました。機運が高まる今、そのレガシーを私たちが引き継ぎ、2030年までのSDGs達成への貢献、さらに先のポスト2030に繋げていきたいです。

Q2：開催場所の特徴や会場づくりへの想いは？

GREEN×EXPOでは、自然を活かした会場づくりを重要視しています。今回の会場となる横浜市の郊外部に位置する旧上瀬谷通信施設は、2015年に米軍から返還された約242haの広大な土地であり、隣接して緑や水、農地など自然が感じられる場所になります。5つのエリアに分かれる会場内では、サーキュラーエコノミー（循環型社会）、ネイチャーポジティブ（生物多様性の回復）、カーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現に向け、自然の力を活用した会場づくりを目指しています。また、閉幕後は横浜市が広域防災公園として運営していき、GREEN×EXPOのレガシーを継承して持続可能な新しいライフスタイルを実践・発信していく点もポイントです。

Q3：持続可能なライフスタイルという点から、「ステハジ」に対する印象は？

私はこれまでJICAでの活動を通じて、先進国や途上国を含めて各国の現状を見てきました。豊かな日本では街中の自動販売機を一つ例に挙げても、必要があれば買って、要らなくなったら捨てる。そんな便利さが日常となる一方で、「循環」という観点では遅れている部分もあります。日本のように水道水を飲める国は世界でも珍しく、豊かな水資源を活かした社会を築くモデルとして、日本はそのポテンシャルを秘めていると思います。そういう点で、OSGさんの“使い捨てに頼らない”という「ステハジ」は、プラネタリー・バウンダリーの観点からも非常によい活動をされていると感じます。さらに、様々な企業と共創しながら社会変容や行動変容に繋げている点も、GREEN×EXPOの開催に向けて参考にさせていただきたいです。

Q4：GREEN×EXPOに向けてOSGとの共創に期待することは？

今回のGREEN×EXPOでは、参加する人・参加したくてもできない人も含めて、すべての人がグリーン社会の姿や自然とともに生きることについて考え、行動に繋がる万博にしたいと考えています。OSGさんは大阪・関西万博会場内での給水スポットの普及によって熱中症対策をされ、また、「給水」するという行動変容を引き起こしました。さらに、会期中だけでなく会期前から万博のムーブメントに沿って「給水を新たな選択肢」として社会全体に働きかけていました。GREEN×EXPOも同様に「私も万博に参加している」と皆さんに感じていただける機運醸成の取り組みを、大阪・関西万博で価値を発揮したOSGさんを新たなパートナーとしてお迎えし、ともに知恵を出し合いながら共創していけることを強く期待しております。

SPECIAL INTERVIEW

PROFILE

見宮 美早（けんみや みさ）さん　GREEN×EXPO協会（2027年国際園芸博覧会協会）

1997年に国際協力機構（JICA）入団以降、ケニア事務所、アフリカ部、地球環境部などさまざまな場所で活躍。2021年からJICAにおけるサステナビリティ体制や方針・戦略策定に携わる。現在、2027年国際園芸博覧会協会（通称GREEN×EXPO協会）に出向し、サステナビリティ推進部のトップを担う。

人と地球の自然との、新たな関係を育むコミュニケーター

公式マスコットキャラクター
トゥンクトゥンク

©Expo 2027

（開催概要）
正式名称：２０２７年国際園芸博覧会
開催場所：神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設）
開催期間：2027 年 3 月 19 日（金）～ 2027 年 9 月 26 日（日）
博覧会区域：約 100ha（内、会場区域 80ha）
クラス：A１（最上位）クラス（AIPH 承認＋BIE 認定）

「幸せを創る明日の風景」Scenery of the Future for Happiness

昨今、世界の多くの人々が「プラネタリー・バウンダリー（地球の限界）」を意識し、これからの幸せな生き方を模索し始めています。そこで基本となるのは「Nature-based Solutions（自然を活用した解決策）」という考え方。地球環境の基盤である自然、植物への理解を深め、私たちもその一部として、自然・人・社会が「共に持続するための最適解」を神奈川・横浜の面積約100ha の開催地で描きます。

NIKKEI event & seminar **NEXT KANSAI フォーラム 2026**

「ステハジ」が創る『幸せな未来の風景』

～大阪・関西万博レガシーを GREEN×EXPO2027 へつなぐ～

2026 年 2 月 17 日 18 日の二日間に渡って開催されました、NEXT KANSAI フォーラム 2026 にて OSG コーポレーション社長の山田と GREEN×EXPO 協会 推進戦略室長　脇坂隆一氏によるトークセッションが行われました。

Sutehaji Journal

「ステハジ」プロジェクトの活動報告をお届けします。

ステハジ® PROJECT

さあ、みんなで サステナブルはじめよう！

“使い捨ては恥ずかしい” という考え方を通して
誰でも（Everyone）子供から高齢者・企業・自治体など、
毎日（Everyday）、どこでも（Everywhere）少しの意識と行動で、
海洋プラスチック問題や使い捨てから生まれる、その他様々な
社会課題を個人・企業・自治体・団体・教育機関・プロスポーツクラブが
一体となって啓発・実践し、みなさんと共に行動変容に取組むプロジェクトです。

「ステハジ」プロジェクトが取り組む２大チャレンジ

01 「ペットボトル50億本削減」チャレンジ

海洋には毎年約 800 万トンものプラスチックごみが流入していると言われています。「ステハジ」プロジェクトでは、年間 287 億本生産されているペットボトルを 50 億本削減する啓発を行っています。

※2024 年度の国内の指定 PET ボトルの販売本数
※出典元 /PET ボトルリサイクル推進協議会

・

02 「みんなで拡げる給水スポット」チャレンジ

自宅や職場・学校、いつものスーパー・ドラッグストア、お気に入りの飲食店や美容室。いつでもどこでもマイボトルの中身が無くなれば給水できる。全国 10 万カ所の給水スポットをみんなでつくろう！

「ステハジ」ビーチクリーン 「ステハジ」海洋プラごみ アート体験　at 福岡

2025　6.15 sun

「ステハジ」プロジェクトの共創メンバーであるサッカー・J1 のアビスパ福岡、シャレンパートナー、福岡市、学生、およびアビスパ福岡公募参加者と、「ステハジ」ビーチクリーンおよび「ステハジ」海洋プラごみアート体験を実施いたしました。
OSG コーポレーションとアビスパ福岡とのシャレン（社会連携）活動は、“まち（福岡）のサステナブルを育てる” こと、環境問題を自分ごとに捉え、行動変容を促すことを目的として「知る・体験・活かす」をテーマに活動しています。

日経 NIKKEI SDGs FESTIVAL OSAKA KANSAI 2025 2.18 tue

日本経済新聞社主催 「日経 SDGs フェス」に登壇

日本経済新聞社、日経 BP が主催するイベント「日経 SDGs フェス」へ OSG コーポレーション代表取締役社長の山田、営業副本部長の増本が登壇。トークセッション形式で「ステハジ」プロジェクト～共創から新結合・変革へ～をテーマに、これまで準備を行ってきた大阪・関西万博の給水スポットや共創体験、今後の取り組みについて話し合いました。

国連環境計画（United Nations Environment Programme）

UNEP 主催 国際研修会に登壇！

タイ・マレーシア政府機関向けに、
日本発の行動変容モデルを発表

2025　11.6 thu

国連環境計画が主催する国際研修会に登壇し、「ステハジ」プロジェクトの取り組みについて発表を行いました。
本研修会は、「持続可能な生産と消費の強化：アジアにおけるプラスチックをはじめとする産業の能力構築」をテーマに、2025 年 11 月 4 日から 7 日まで大阪にて開催されたもので、タイおよびマレーシアの政府機関関係者を中心に、多くの行政・専門機関が参加。
サステナブル先進事例として、日常生活や企業活動で誰もが参加できる行動変容を支えることで、持続可能な社会の実現を目指す取り組みが実現できます。
研修会では、日本国内で展開してきた「ステハジ」の活動背景や仕組み、企業・自治体・市民との共創による実践事例を紹介しました。

アーバンリサーチイベント

TINY GARDEN FESTIVAL’25 at アシックス里山スタジアム 「ステハジ」共育体験

2025　10.25 sat・26 sun

株式会社アーバンリサーチと日本プロサッカーリーグ所属 FC 今治が主催する “衣･食･住･遊” をテーマにしたライフスタイルフェスティバル「TGF」。2023 年 6 月から TGF へ共創参加を始め、一昨年 9 月の TGF 2024（今治）、昨年 6 月の TGF 2025（蓼科）に続き、今回で 5 回目の出展 となります。
毎回、多くの方に「ステハジ」プラ干狩り体験にご参加いただき、子どもたちが楽しみながら「拾う」「考える」「行動する」ことを学べるプログラムとして定着しています。
自然豊かな環境の中で来場者が心地よく過ごしながら、暮らしや環境について学ぶことができる内容となっています。

京阪ホールディングスイベント

TRINITY STREET FUN SPORTS

中之島のど真ん中で、
フットボールで
遊び尽そう。

2025
11.9 sun

出演者
本田泰人　前園真聖
久保竜彦　鈴木啓太
ハーフナー・マイク
川上直子　海堀あゆみ

健康増進・地域連携・環境配慮を同時に実現する新しいスポーツイベントモデルとして「TRINITY STREET FUN SPORTS」が開催されました。中島のイベントエリアでは、ドリブルチャレンジや 3x3FOOTBALL、などを実施。また京阪ホールディングスとの共催で「京阪電車特別電車編」として、レジェンドゲストと親子参加者様の交流特別電車 1 時間の旅も行われました。
OSG コーポレーションは今後も「ステハジ」を通じ、スポーツや地域イベントとの共創を推進し、行動変容を促す取り組みを広げてまいります。

住友生命 Vitality Presents

I.K.U Sports Project PK Tournament 2026

Osaka.2026　1.31 sat
Saitama.2026　2.14 sat

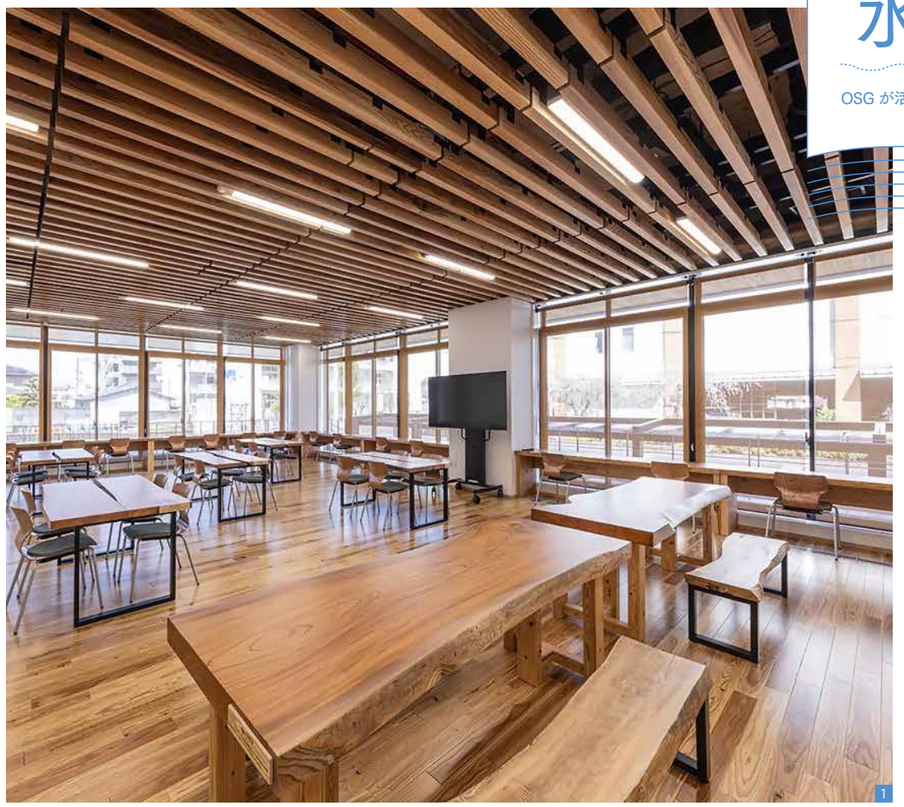
出演者
本田泰人　小村徳男　前園真聖　久保竜彦　永井雄一郎　都築龍太
佐藤寿人　柏木陽介　ハーフナー・マイク　川上直子　海堀あゆみ
近賀ゆかり　鮫島彩　阪口夢穂　岩渕真奈

「使い捨ては恥ずかしい、さあサステナブル始めよう」を合言葉に活動する行動変容プロジェクト「ステハジ」は、2026 年 1 月と 2 月に大阪および埼玉で開催された「住友生命 Vitality Presents I.K.U Sports Project PK Tournament 2026」において、主催の株式会社 IKU と共創し、会場内で体験型環境コンテンツ『「ステハジ」プラ干狩り体験』を実施しました。
PK 戦に特化したサッカートーナメントとして、大会当日は全国から多くの参加者・来場者が集い、白熱した PK 戦とともに、会場全体が一体となる盛り上がりを見せました。

八女市役所

全国初の「万博リユース」を新庁舎の市民開放スペースに設置

省エネ・創エネを両立するNearly ZEB認証の新庁舎。万博リユースが、地域住民の暮らしを潤す。


1

福岡県南部に位置する八女市は周辺の町村と合併後、現在は県内2番目の面積を有する広大な市です。八女茶の産地として知られ、2025年には大阪・関西万博の地方創生SDGsフェスにて体験型ブースを出展。期間中は市長自ら3度足を運び、八女市と八女茶の魅力を発信しました。

万博ではOSGも熱中症予防やプラスチックごみ削減を目的に冷水機やウォーターサーバーなど合計52台、32カ所に給水スポットとして設置。市長も給水スポットの状況を現地で実際に目にしたことで、取組の重要性を再認識し、万博で使用した冷水機を新庁舎1階の休憩スペース「まちの茶屋」に設置する流れとなりました。

『まちの茶屋』は休憩・談話・勉強など幅広い市民の方々に土日や夜間を含めて開放しています。

〝万博リユース品〟という点は市民の方々も関心を集めるポイントなので、多くの方にご利用いただき熱中症予防やプラスチックごみ削減につなげていきたいです。

2

3

4

1. 八女産の杉材をふんだんに使用した新庁舎の「まちの茶屋」。八女を PR するランドマークに。
2. 新庁舎内にはたくさんの八女産の杉材で明るい雰囲気に。
3. 2024 年 5 月に供用開始した新庁舎の外観。
4.「まちの茶屋」に設置された、万博のリユース冷水機。

八女市役所
福岡県八女市本町 647
☎ 0943-23-1111

福島市上下水道局

通水 100 周年を記念し OSG の冷水機を 福島市市民センターに設置

「福島の水のおいしさ」をアピールするため、
新たに誕生した街の活動拠点に、OSG の冷水機を設置しました。

オリジナルデザインの冷水機

ふくしまの水

岡部課長と冷水機

摺上川ダム

福島市市民センター

福島市上下水道局は1925年に通水を開始し、2025年に通水100周年を迎えました。昨今は東日本大震災を乗り越え、未曾有の災害を教訓に各所で耐震化を行い、安全な飲み水の供給（上水道）と、汚水処理・雨水排除（下水道）を管理しています。各所へ供給する水道水の水源は、摺上川（すりかみがわ）ダムに集まる水。奥羽山脈を源流とする摺上川の水は水源保護地域に指定されており、水質汚染がなく「安全でおいしい」のが特徴です。そこでそのおいしさをPRするため、同局では水道水をボトリングした「ふくしまの水」を製造・販売。震災の風評被害払拭のために応募し始めたモンドセレクションでは、10年連続で金賞以上を受賞しています。また100周年事業の一環として同局では2025年3月にオープンした福島市市民センターにOSGの冷水機を設置し、水道水の魅力をアピール。合わせてオリジナルマイボトルも製造し、マイボトルの利用促進にもつなげました。「水の爽やかさと清涼感を表現したデザインが風景にマッチしています。100周年のロゴや同局のキャラクターを入れてもらい、まさに通水100周年を記念するひとつのシンボルとなっています。今後も給水スポットを広め、市民の健康、地球の環境に貢献していきます」。

福島市上下水道局
福島市五老内町 3 番 1 号（福島市役所内）
☎ 024-535-1120

栃木保健福祉センター内にある、栃木市役所 保健福祉部 健康増進課

栃木市役所 保健福祉部 健康増進課

記録的な暑さが続く栃木県 熱中症のリスクから守る 気軽に飲める給水スポット

日本国内でも有数の暑さを記録する栃木県。
栃木市役所では毎年、数々の熱中症対策を講じるなか、
３年前から OSG グループ・waternet のウォーターサーバーを
利用した無料給水スポットを設置しています。

音楽イベント「なつこい」で、「ちょこっと涼み処」として活用

豪華絢爛な江戸型人形山車が見どころの、とちぎ秋まつりを今年も 11 月に開催

観光の中心部である栃木市立文学館に設置

栃木市役所の健康増進課には、一般事務職のほか、保健師や管理栄養士など専門職も在籍。市民の健康を支えるため、専門的な視点から行う健康相談や栄養指導のほか、健康づくりに関する教室等を開催しています。「栃木は内陸性気候のため、夏は高温になりやすい地域となっており、夏場の熱中症対策は欠かせません」と話すのは健康増進課の職員。そこで同課では例年、夏場の熱中症対策にさまざまな策を打ち出し、OSG・waternetもエントリーする「ひと涼みアワード」では数々の受賞歴を誇ります。そんな同課では、市内の薬局・コンビニ・スーパーに協力を仰ぎ、暑さを避けるために一時的に気軽に涼める施設「ちょこっと涼み処」として指定するほか、公共施設には「熱中症お助けスポット」として体調不良を感じた方に対して重症化を防ぐための応急対応ができる用品を設置しています。

「熱中症対策には３年前からOSGグループ・waternetさんにも協力してもらっています。駅前の観光交流館、観光で賑わう栃木市立文学館などでウォーターサーバーを置かせてもらっていますが、『無料で冷たい水を飲める』と大好評です。イベント時も貸し出ししてもらい、熱中症対策・啓発につなげています」。

栃木市役所 保健福祉部 健康増進課
栃木市今泉町 2-1-40
（栃木保健福祉センター内）
☎ 0282-25-3511（健康づくり係）

大和リース株式会社 関西工場・滋賀水口デポ

大和リースを代表する工場・デポに IDOVA が導入。水から始まる、新たなコミュニケーションの形。

IDOVA 導入をきっかけに、マイボトル持参者が増加。
環境への意識を変え、健康を支え、交流を生む、新たなツールに。

大和ハウスグループの中核企業として、建築とリース事業を核とする大和リース。近年は環境緑化やシステム建築のノウハウを活かし、大阪・関西万博では大屋根リング緑化整備やブルガリア等の各種パビリオンを建設しました。生産や物流を担う拠点は全国で15カ所。なかでも滋賀水口デポ・関西工場は、部材の製造から保管・出荷までを一貫し、関西エリアを中心に中部までをカバーする一大拠点です。

製造部門では、厳格な品質管理と高度な工程管理により、高品質な部材を安定的に生産。物流部門では、精度の高い在庫管理と迅速な配送対応を通じて、お客様の多様なニーズに柔軟に対応し、環境負荷の少ない循環型リースビジネスを展開しています。

さらに、安全管理や環境配慮、BCP（事業継続計画）の強化にも積極的に取り組み、災害時にも安定した供給体制を確保。今後もDXの活用、生産性向上、環境価値の向上を推進し、持続可能な社会の実現に貢献する拠点として、お客様の期待に応えております。

顧客と社会のニーズに応える商品を提供するなか、昨今は太陽光発電や蓄電池の導入による再エネ・省エネ、CO2排出量削減を目的に鉄道輸送を活用したモーダルシフトなど持続可能な生産・物流体制の構築にも取り組んでいます。そして2025年の夏には、プラスチックゴミ削減と熱中症対策の一環としてOSGのIDOVAを2台導入。「環境や健康への意識が変わり、マイボトル持参者が増えました」「鉄骨を扱うため全館クーラーを設置できませんが、いつでも冷たくておいしい水が飲めるとうれしい」「業務で関わりが少なく挨拶程度の関係性だった人とも、IDOVAの前に並んでいると自然と井戸端会議が始まり、新たな関係性が生まれる」などさまざまな声が上がっています。今後ますますIDOVAを通じて、水から始まるコミュニケーションが加速していくでしょう。

大和リース株式会社関西工場・滋賀水口デポ
滋賀県甲賀市水口町さつきが丘 35
☎ 0748-63-1731（関西工場・滋賀水口デポ）

滋賀県甲賀市様と協定を結び、甲賀市生物多様性パートナー企業となりました。他社の模範となるような取組みを行なってまいります。

グリーンアリーナ玉手山

ゴルフ練習場に IDOVA ！おいしい水を飲みながら開放的な空間でプレイ

熱中症を予防するだけではなく、
パフォーマンスにも影響する「水」の存在。
ゴルフを快適に、安全にプレイしてもらうために、
IDOVA が採用されました。

充実した練習環境とスタッフの心地よいサービスが魅力のグリーンアリーナ玉手山。全長230ヤード、全86打席の開放的なドライビングレンジは全打席に自動ティーアップを完備。アプローチ大会やドラコン大会などイベントも盛んで、連日多くのゴルファーで賑わっています。2026年4月にオープン10周年を迎えるにあたって練習ボール10万球とマット類を新調し、今後ますます来場数の増加が期待されるなか、スポーツ施設として昨今強化しているのが「利用者の健康と安全」です。近年の猛暑に対する熱中症対策では、冷やしたおしぼりを提供するほか、定期的な水分補給をアナウンスしていましたが、より充実したサービスを目指して昨年夏にサブスク型給水スポット「IDOVA」を設置。月額1080円で契約期間中は何度でも給水が可能となるため、利用者の熱中症予防と健康促進に貢献しています。「IDOVA登録の特典として施設内で使える1000円分のポイントを期間限定にて還元（本年4月迄・予告なく変更する場合がございます）。『実質1ヶ月無料』で飲み放題のため、施設の利用促進や会員獲得にもつながっています」と施設スタッフも手応えを感じています。IDOVAが叶える、充実の練習環境。「美味しい水を飲みながらプレイできる」ことは、顧客満足につながる強みとなっています。

@GREEN_ARENA_TAMATEYAMA
@GOLFPARTNER_TAMATEYAMA
インスタ、LINE は こちらから！

グリーンアリーナ玉手山
大阪府羽曳野市駒ヶ谷２－３４
☎ 072-956-1777

直方市消防本部

消防職員を熱中症から守る MINE の電解水素水

消火・救助活動に命をかける直方市消防職員。
熱中症・脱水症の予防に、健康で安心な水を。

福岡県の北部に位置する直方市で、消火・救助・救急活動を行う直方市消防本部。福智山や遠賀川など自然に囲まれて暮らす約5万4000人の命を、消防職員が24時間体制で守っています。

命の危険と隣り合わせの過酷な現場では、防火衣の上着とズボンにヘルメット、さらには空気呼吸器など重装備が基本。特に夏場は装備の重さと暑さによって熱中症のリスクが高まるため、職員全員が「水を飲む」という大切さを常日頃から身をもって体感されています。

そんな直方市消防本部では、直方市と包括連携協定を結んだ直方ガス株式会社様から電解水素水生成器「MINE」2台が寄贈され、昨年秋より給湯室と食堂に設置。「長時間の現場活動で体調を崩さないように毎日飲んでいます」「意識して給水をするよう心がけています。」と職員からお喜び頂いております。

今後もOSGはMINEとともに、現場で活動する消防職員の健康を支えていきます。

サプリメントの溶け具合も良いと評判

厳しい訓練の様子

直方市消防本部
福岡県直方市新町 2-5-10
☎ 0949-25-2300

ツルハドラッグ

新店オープン時に導入 新機種「VARIABLE」が 店舗の付加価値を高める

ツルハドラッグアプリはこちらから

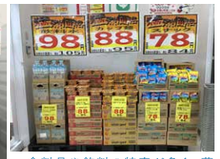
従来製品から進化したWATER STATION「VARIABLE」を導入。
シーズンとターゲットを選ばない「水」を提供し、
地域住民にとって日常の給水スポットに。

2025年7月にオープンしたツルハドラッグ 西宮段上店

グループ全体で国内総店舗数2676店舗（2025年8月31日時点）を記録するドラッグストアチェーン、ツルハドラッグ。2025年末にはウエルシアホールディングスと経営統合し、日本最大・アジアトップクラスの巨大ドラッグストアチェーンとして人気を集めています。現場の店舗づくりにおいては「ヘルス&ビューティー」を事業の柱に掲げ、医薬品・美容など各専門スタッフによる丁寧なカウンセリングやサポートを重視。利便性を意識した取り組みも特徴的であり「日常づかいできるよう食品や飲料の特売日を設けるほか、お客様感謝デーやシニア感謝デーなど会員様がお得にお買い物できる日もあります」と話すのは兵庫県の西宮段上店の辻店長。2025年7月にオープンした同店では会員獲得へ向けて新機種であるWATER STATION「VARIABLE」を活用し、近隣エリアにある競合店との差別化を図り集客に繋げています。

「会員の方は専用ボトルを購入後、アルカリイオン水をいつでも無料で給水できます。朝から並ぶシーンも珍しくなく、給水機の存在が来店動機になっています」。ツルハドラッグでは新店舗の展開に合わせて随時導入を検討していただいており、VARIABLEが怒涛の店舗展開を後押ししています。

レジカウンター近くに設置されているWATER STATION「VARIABLE」。買い物ついでに給水が日常に



食料品や飲料の特売が多く、菓子・米・レトルトなど食品コーナーも充実

ツルハドラッグ
北海道札幌市東区北24条東20-1-21（本社）
☎ 011-783-2754（代表）

私たちの給水スポット | Our Water Spot

スーパーと数々の専門店が入るアピタ磐田店は、街のシンボルとして人気を集めています

ユニー株式会社（アピタ・ピアゴ）

顧客のロイヤルティを高める 給水スポット「WATER STATION」

会員数獲得・来店頻度向上・災害時の給水など
WATER STATIONが全国の小売店で採用されています。

東海・中部エリアで人気を集める総合スーパー「アピタ」や食品スーパー「ピアゴ」を展開するユニー株式会社。グループ会社のドン・キホーテにもWATER STATIONが数多く導入されている流れで、昨年から同社運営のスーパーにも導入され始め、80店舗で105台（2026年1月時点）と爆発的に増加しています。「総合レジの横に置いていますが、連日行列ができるほどの人気ぶりです。週末は20人くらい並ぶことも珍しくありません」と手応えを感じているのはアピタ磐田店を担当する早坂支社長。同店では以前、他メーカーの給水機を設置していましたが「水質の違い」「アプリ会員非対応」という点で、顧客の利用頻度は低かったようです。「以前は純水でしたがアルカリイオン水になったことで、その美味しさが口コミで広がっています。また、当社が導入するmajica（マジカ）アプリの会員は無料で汲めるため、アプリ会員獲得にも大きく貢献してくれています」。トレンドに左右されず、毎日必要とする水だからこそ、継続的な来店とロイヤルティ向上につながっています。

majica会員はWATER STATION利用のほか、会員限定の破格プライスで対象商品を購入できる

アプリはこちらから

「WATER STATION は災害時の給水やごみ削減など SDGs にも繋がっています」と話す早坂支社長

株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（(PPIH)グループであるユニー株式会社

ユニー株式会社（アピタ・ピアゴ）
静岡県磐田市今之浦3-1-11（アピタ磐田店）
☎ 0570-009-583（アピタ磐田店）

全国10万箇所の給水スポットを目指して

あなたの近くにもきっとある！ こんなところに！OSG

フジパン株式会社

フジパン株式会社
愛知県名古屋市瑞穂区松園町1-50
☎052-831-5151（代表）

衛生管理の先にある安全・安心な食生活の創造

全国18拠点の工場で1200アイテム以上に及ぶパンを製造。『安全・安心な食生活創造』というテーマのもと、食品安全システムの国際規格FSSC22000の認証を取得。西春工場と武蔵工場に「ウェルクリン・テ・エクセレント」が導入され、衛生管理に活用されています。

IKEA

IKEA 新宿
東京都新宿区新宿3丁目1-13

日本全土に展開中のスウェーデン発大型家具店

「地球環境に配慮したEVトラックを導入した“100%ゼロエミッション配送サービス”」や「展示品として使用したものをお手頃な価格で商品を提供する“サーキュラーマーケット”」などのサステナブルな取り組みと共に、無料給水スポットの提供として設置していただいております。

国立競技場

国立競技場
東京都新宿区霞ヶ丘町10-1
☎ 03-5843-1300

木と緑のスタジアムは東京のシンボルへ

100年後の未来を見据えて改装され、国のシンボルとなる競技場としてスポーツの魅力を世界へ発信する国立競技場。B2階から4階まで合計16か所にOSGの冷水機が設置され、コンコースや休憩室に設置している冷水機は観客の安全のために利用されています。

※画像提供：独立行政法人日本スポーツ振興センター

大津湖岸なぎさ公園

大津市企業局
滋賀県大津市御陵町3-1
☎ 077-523-1234

琵琶湖を一望できる給水スポットが人気

琵琶湖岸沿に約 5km 続く大津湖岸なぎさ公園。大津市企業局は冷水機を通じてプラスチックごみの削減や水道水の安全性・利便性を PR するため、冷水機を設置。サイクリングやジョギングを楽しむ市民から人気を集めています。

ホテルニューオータニ

ホテルニューオータニ
ステーキハウス「リブルーム」
東京都千代田区紀尾井町4-1
☎03-3238-0026

一流ホテルの名店が選んだ、こだわりの水

レストランやショップの名店が軒を連ねるなかで、最高の牛肉が味わえると人気を博すステーキハウス「リブルーム」。その厨房で活躍しているのが、OSGのアルカリイオン整水器。「水がおいしいと好評です。コンパクトなのも嬉しいですね」と一流シェフからも太鼓判をいただきました。

東京都交通局都営地下鉄

東京都交通局
東京都新宿区西新宿2-8-1
都庁第二本庁舎
☎ 03-3816-57
（都営交通お客様センター）

公営交通機関でも冷水機でおもてなし

東京都交通局が運営している都営地下鉄は、1日平均約251万人が利用する主要交通機関です。1991年頃よりバリアフリータイプの冷水機に置き換えられ、現在は交通局が管理する101駅すべてのホームに1台ずつ、OSGの冷水機が設置されています。

高松市役所

高松市役所
ゼロカーボンシティ推進課
香川県高松市番町1-8-15本庁舎13階
☎ 087-839-2393

ゼロカーボンを目指して給水スポットを設置

「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組む高松市。ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを強化し、脱炭素に向けて取り組まれています。マイボトル利用促進の一環として、クラウドファンディングによってOSGの冷水機が市役所正面玄関前に設置されました。

コストコホールセール

コストコホールセール
千葉ニュータウン倉庫店
千葉県印西市泉野3-1186-4
☎ 0476-48-7333

独自の倉庫スタイルで魅せる売場づくり

「コストコ」の愛称で親しまれている、アメリカ発の会員制倉庫型店「コストコホールセール」。売り場が約1万㎡と広大なため、お買い物の合間に気軽に喉を潤せるよう、売場のフードコート横に冷水機を設置。お客様から好評をいただいています。

1. オホーツク海を埋め尽くす真っ白な流氷の世界を楽しめるガリンコ号　2. 流氷が押し寄せるオホーツクタワー　3. 生徒にも喜んでいただいている様子　4. 冷水機はいつでも使うことができる場所へ　5. 流氷を望み 潮騒が聞こえる 大いなる風景 緑豊かな手作り公園がテーマのオホ ーツク流水公園

紋別市教育委員会

まちづくりは、人づくりから。「人生の土台」を作る小中学校で冷水機を一斉導入。

日本を代表する水産都市、北海道紋別市の教育委員会は子どもたちの教育現場の充実を図るため、小中学校に冷水機を導入しました。

北海道東部、オホーツク海沿岸の中央に位置する紋別市は、「水産業のまち」として知られ、毛ガニ・ホタテ・ホッケなど北海道を代表する魚介類が水揚げされています。また、流氷観光のほか、冷涼な気候を活かしたスポーツ合宿誘致など独自性を活かした事業も振興しています。一方で全国の地方都市と同じく、紋別市では人口減少や少子高齢化、商業施設の減少・衰退などの課題も。それら課題に対して「地域を支えるのはそこに住む人々の総合力であり、地域づくりは人づくり」と考え、取り組んでいるのが紋別市教育委員会です。人生の土台を作る小中学校の教育において教育の充実を図ることはもちろん、環境の充実のため2025年夏には市内の小中学校8校の各階に1台ずつ冷水機を一斉導入しました。将来を担う子どもたちへの投資として冷水機を導入し『水が冷たくて美味しい』『水筒に入れて親にも飲ませてあげたい』と喜んでくれています。オホーツクの豊かな自然に恵まれた子どもたちは充実な教育環境で学んだ先、長い歴史と貴重な文化と資源を未来へ受け継ぐとともに、紋別市に新たな息吹を創造していきます。

紋別市教育委員会
北海道紋別市幸町 3-1-8
（紋別市教育委員会事務局）
☎0158-28-6431

こんなところに！OSG

泉南市教育委員会

ボトル給水型冷水機を
市立小中学校の
全 14 校舎で設置

早稲田アリーナ

2018 年に誕生した
早稲田が誇る
次世代のシンボル！

樟蔭中学校・高等学校

知性と情操を備えた女性へ。常により良い教育環境を目指す大阪の伝統ある女子校

女子教育に 100 年以上取り組んできた樟蔭学園。
生徒の健やかな成長を支えるため、OSG の冷水機が採用されました。

大正6年創立の伝統ある女子総合学園、学校法人樟蔭学園。「女性本来が持つ素晴らしい能力、特性を伸ばすこと」を第一の目標に掲げ、幼稚園から大学まで幅広く運営しています。中高一貫の女子校では6年一貫というメリットを活かし、国際文理・総合進学・身体表現・看護系進学・児童教育・フードスタディなど幅広いコースを設置。さらに2026年度より「美術表現コース」「情報表現コース」を新設し、計8コースから1人ひとりの個性を伸ばす教育を行っています。加えて、課外活動も盛んな同校。文化祭と体育祭を併せた伝統行事である「若葉祭」のほか、例年満席となる「身体表現コースクラブ発表会」では新体操やダンスなど部活動に所属する生徒たちが圧巻のパフォーマンスを披露します。そんな文武両道の生徒たちが活躍する同校では、昨年の遠足で大阪・関西万博へ。至る所に設置されていたOSGの冷水機がきっかけとなり、OSGの給水機がランチルームに2台設置されることになりました。

生徒や先生が利用し「冷たくて美味しい」「ペットボトル削減になるので環境に良い」など熱中症対策やSDGsにつながっているほか、幼稚園から大学までが同施設内にあるため緊急時の災害対策にも活躍が期待されています。

1. 毎年、東大阪市文化創造館で開催される「身体表現コースクラブ発表会」。3000 人を超える来場者の前で、各クラブが持ち味を生かした演技を披露。
2.2021 年に開設した「ICT Lab.」ではロボットプログラミングや 3D プリンター、レーザーカッターなどを活用した STEAM 教育に取り組んでいます。
3. 環境に対する意識の高さから、以前からマイボトル持参率の高かった同校。休憩時間には生徒が列を作って給水しています。

樟蔭中学校・高等学校
大阪府東大阪市菱屋西 4-2-26
☎06-6723-8185

中央大学 多摩キャンパス

学生の芽を育む雄大な自然と充実の教育そして、おいしい水

豊かな自然環境で学生の芽を育む多摩キャンパス。
給水スポットを広げ、学生の勉学とスポーツを支えます。

東京都の難関私立大学6校を指すGMARCHの1つであり、8学部・約26000人の学生を擁する中央大学。多摩や後楽園など5つのキャンパスを展開するなか、メインの多摩キャンパスは広大な面積が特徴で、なんと東京ドーム約11個分を誇ります。緑豊かなキャンパスでは難関国家資格合格を目指す学生たちが集う歴史ある「炎の塔」のほか、2021年には教育研究施設「FOREST GATEWAY CHUO」が新設。"森のキャンパス"をコンセプトに、省エネと快適性を両立しながら自然と調和する新たなシンボルとして、キャンパスの玄関口で学生を迎えます。一方、勉学に加えてスポーツも盛んで、陸上競技場や野球場など大小含め数々の運動施設が充実。そのうち第1体育館と第2体育館でボトル給水型の冷水機が2025年夏に導入されました。

「コロナで従来の冷水機約90台が使用禁止になりましたが、やはりスポーツと水は切っても切れない関係です。時代の流れに沿った非接触タイプなので衛生面も安心できます。キャンパスが広いため、今後も各所に導入を検討しています」と職員も太鼓判。豊かな自然環境とダイバーシティに富むグローバルキャンパスでは、今日も水とともに多種多様な学生が日々充実した生活を送っています。

設置された冷水機

FOREST GATEWAY CHUO

チュー王子

中央大学 多摩キャンパス
東京都八王子市東中野 742-1
☎042-674-2210

おたより広場

OSGユーザー様からのお声が届いています

ご意見・ご感想、ありがとうございます！

OSG製品をご利用いただいているお客様から、たくさんのお声をいただきました。

メンテナンス担当者へのお声

爽やかな挨拶、丁寧な対応と作業でとても好感が持てました。スリッパやマット、言葉遣いなど気配りもよく出来ていて素晴らしかったです。またお願いします。（福岡県）

新しい商品をお勧めされ購入を決めました。今の生活で私には無くてはならないもので、メンテもしっかりされるので満足しています。（滋賀県）

赤ランプが点いて交換をお願いしましたが、オペレーターの方の対応が良く安心出来ました。毎回対応が良いので企業レベルの高さを感じています。OSGにして良かったです。
（大阪府）

訪問担当者の印象がとても良く、帰られた後見たら、関係のない水道の蛇口もピカピカでビックリ。嬉しかったです。（大阪府）

訪問担当者は今回で2回目でしたが、明るいし知識も豊富で、仕事も丁寧で早い！営業も出来そうですね。こんな方がおられると、OSGさんの商品を他の人にも勧めたくなりました。
（岡山県）

色々と買いましたが、OSGだけがアフターがあります。とても安心して使用できます。（兵庫県）

健康・お料理に対するお声

12年前ヒューマンウォーターを利用し始め、古希になり、元気に人生を送っています。水は健康源ですね。

長年ご愛用の方のお声

もう20年ほど使わせて頂いている愛用者です。お水は美味しいのはもちろん、安心して飲めるのが嬉しいです。
毎年メンテンナンスに来てくださる事も、他の業者さんには無いメリット。これからも愛用させていただきます。（東京都）

万博でのお声

訪問担当者が万博でお水が使われている事をお話して下さって、より信頼できるメーカーさんなんだと思いました。暑い中ありがとうございました。（大阪府）

訪問の方から万博にOSGさんが関わられている事を聞き、話がはずみました。暑い夏の給水スポットは、万博でとても助かった事と思います。（兵庫県）

大阪万博でのOSG無料給水機の利用に大変助けられました。会場内に52箇所も設置されていた事に感動しました。猛暑の中、マイボトルで家族4人、何度も利用しました。（沖縄県）

「ステハジ」へのお声

1年使ってみてペットボトル飲料を買うことがなくなりました。
（愛知県）

主人も子供達もマイボトルに入れて毎日欠かさず飲んでいます。料理にも使用し大変使いやすく助かっています。（滋賀県）

水分補給へ対するお声

毎日2L以上飲んで水分補給しています。電解水は美味しくて飲みやすいです。メンテナンスもありがとうございます。
（愛知県）

ぶどう農家です。夏の畑仕事での水分補給に飲み物は欠かせません。体の中に素早く吸収されてねと念じながら麦茶を作っています。美味しいと喜ばれています。

製品へのお声

フィルター交換後はお水が本当に美味しくて何杯でも飲みたくなるほどで、市販の水ボトルとは比較にならないと改めて実感しているところです。（千葉県）

新しいデザインのものがシンプルで素敵だったのでこの機会に買い替えました。キッチンが白基調なので、ホースも白いのが目立たなくて大変気に入ってます。（京都府）

OSG STORY

OSG 製品を愛用して50 年になる小川さん（右）と、かつてメンテナンススタッフとして長年携わった営業の長岡さん（左）

OSGでは

浄水器・電解水素水生成器などのアフター ケアとして、カートリッジの定期的な交換にお伺いしています。
このコーナーではメンテナンススタッフの仕事の心得やお客さまとのエピソードをご紹介します。

お久しぶりです、OSGです

浄水器を愛用し続けて50年。「これまでも、これからもOSG。」

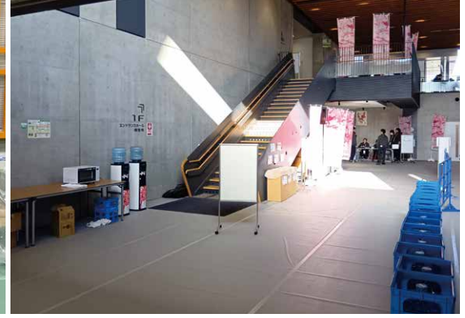
「毎日の健康に欠かせない1台となっています」と話すのはOSGが創業して間もない頃から、数々の製品を愛用し続けている小川さん。特に長年、生活の中心にある「アルカリッチ」についてインタビューしました。

大阪府にお住まいの小川さんとOSGのお付き合いはなんと約50年。前身の浄水器「チェリーウォーター」や家庭用低周波治療器「リズムタッチ」など歴史ある製品を数々愛用されてきました。そんな小川さんがOSGと出会ったのは、たった1本の電話でした。「当時最前線で営業をしていた湯川会長から浄水器を勧められたんです。ちょうど息子が離乳食を始めた頃で、私もきれいな水を求めていて。当時の水道水はカルキ臭が強かったのですが、浄水器の水は臭いもなく、透き通った美味しさだったのを覚えています」。それからは息子様だけでなく、旦那様やお母様まで一家全員が浄水器の水を愛飲。お茶を入れる時、料理をする時、どんな時も健康な水が生活の質を高めてくれたようです。「おかげさまで、母も毎日畑仕事をしながら元気に過ごし、99歳で大往生を遂げました。私は親の遺伝で40代後半から血圧が安定せず、高血圧の傾向にありました。減塩や菜食など心がけていましたが、やっぱり健康の基礎を作るのは水。それは母親の姿を見ても感じることです。長く健康に過ごしてほしいと、息子が結婚するタイミングでアルカリイオン整水器「アルカリッチ」をプレゼントしたほどです」。小川さんが愛用し続けている理由には、メンテナンスの安心さもあるようです。「これまで30人ほどのメンテナンススタッフの方と会いました。真面目で掃除も丁寧なのはみんな同じ。でも1人ひとり個性があって、趣味も違う。だから、ついつい話し込んじゃうんですよ（笑）」とキラキラした笑顔で話す小川さんの趣味は、生け花。20代半ばから続け、大阪・梅田の百貨店のウィンドウディスプレイを手がけるほどの熟練度を誇ります。「時代とともにトレンドがあるように、花は魅せ方、人はファッションが移り変わっていきます。でも、どんな時代も変わらないのは、育て方であり、生き方です。花も人間も、同じように水が大事。手入れすればするほど毎日イキイキしてきますよ」。

料理には電解水素水、洗い物には弱酸性水、薬の服用には浄水などシーンごとでアルカリッチを使い分けています。

京都・大覚寺で開催された「嵯峨天皇奉献華道祭」にて、小川さんの優れた華道作品が表彰されました。

ウォーターネットも　様々なイベントと共創



会場のあちらこちらにウォーターサーバーを設置

第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025

25th Summer Deaflympics Tokyo 2025

2025年11月15日（土）～ 26日（水）

大会ビジョン

①デフスポーツの魅力や価値を伝え、人々や社会とつなぐ
②世界に、そして未来につながる大会へ
③“誰もが個性を活かし力を発揮できる”共生社会の実現

東京2025デフリンピックは、2025年11月15日（土）から26日（水）までの12日間にわたって開催。日本における初めての開催であり、また、1924年にパリで第1回デフリンピックが開催されてから100周年の節目となる、歴史に残る大会となりました。競技数は21競技、79か国・地域等から、2943人もの選手にご参加いただきました。

東京2025デフリンピックでは、開催基本計画の中で、環境に配慮した大会運営実施のため、以下を定めております。

「既存施設や物品をできるだけ活用し、調達が必要な場合でもリースやレンタルを基本とするなど、脱炭素化と3Rの推進に努め、環境に配慮した大会運営を行う」。必要な什器、備品類やオフィスで利用する机、椅子等についてもリースにて対応しました。

大会輸送についても、東京都交通局の保有するバス車両（環境に配慮した燃料電池バスを含む）の借用を行い、出来うる限りの環境配慮を実施しています。

競技スタッフ等に対する水分補給機会提供の課題解決のため、大会期間中のウォーターサーバーの設置での協賛契約を株式会社ウォーターネットと締結させていただき合計59台を設置させていただきました。東京2025デフリンピックにおいて大会運営拠点及び選手団等の交流拠点、各競技会場への輸送拠点であるデフリンピックスクエア（国立オリンピック記念青少年総合センター）にもサーバーを設置したところ、当初の想定を上回るご要望をいただき、選手団や役員をはじめ多くの関係者の喉を潤していただけました。

大会前半は暖かい日が多く、かなり冷水の需要が高かったと聞いておりましたが、大会後半はぐっと冷え込む日が増え、温水の需要が一気に高まりました。ほぼすべてのサーバーで温冷水の給水が可能なように電源を整備していたこともあり、11月の変わりやすい気候に対応した水分を提供できました。大変ありがたく存じます。

選手団、ボランティアに対して水筒を支給していたこと、開会式前の選手団入国時からウォーターサーバーを設置したことで、本大会において会場にウォーターサーバーがあるという認識が広がり、各競技会場においても設置当初から多くの方にご利用いただけたように感じております。

大会期間中も、ボランティアや競技スタッフが給水している姿を日常的に見ており、大会を支える皆様にとって欠かせない存在となっておりました。

選手団の方々も積極的にご活用くださっていたことは喜ばしい出来事でした。特にデフリンピックスクエアにおいて、選手交流ラウンジやリフレッシュメントエリアに設置していたウォーターサーバーでお湯を出せることが人気で、加温待ちをお願いするような場面もありました。サーバー前面の装飾も非常に好評で、選手団に対するおもてなしとして、極めて重要な役割を担い、大会を彩っていただきました。

「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」の給水サポートとして協賛しました。

湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ2025

滋賀県で開催された第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会。全国から選手・関係者が集い、「わたSHIGA輝く」を合言葉に、スポーツを通じた交流と共生社会の実現を目指す総合スポーツイベント。

ウォーターネットは、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」の開催にあたり、「安全・安心な大会運営」と「環境に配慮した取り組み」の趣旨に賛同し、会場内に給水スポットを設置する給水サポートを実施しました。暑さ対策とプラスチックごみの削減を同時に実現する取り組みとなりました。

特に気温が高かった国スポ期間中には、「手軽に水分補給ができて安心できた」「無料で給水できることで、こまめな水分補給につながった」といった声が多く寄せられました。また、マイボトルの推進によるプラスチックごみの削減にもつながり、環境負荷低減の観点からも意義ある取り組みとなりました。

当社は、滋賀県内にボトリング工場を有し、地域に根差した事業活動を行っています。地元からの安定供給は、輸送負荷の低減や円滑な給水サポートの面でも意義のあるものとなりました。

本取り組みは、琵琶湖を守り次世代へ引き継ぐ「マザーレイクゴールズ」の考え方とも方向性を同じくするものです。ウォーターネットは今後も、行政や地域と連携し、水を通じた持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

国スポ 会期前競技

2025年 9月 6日(土)～ 9月15日(月)
2025年 9月21日(日)～ 9月25日(木)

第79回国民スポーツ大会

2025年 9月28日(日)～10月 8日(水)

第24回全国障害者スポーツ大会

2025年10月25日(土)～10月27日(月)

Hygiene company

衛生のOSG

OSG が活躍するさまざまなスポットをご紹介！

1

琉球大学　医学部先端医学研究センター

除菌力と使い勝手で先端の医学研究を支えるセリウスの機能水

ハイレベルの衛生管理が求められる、
琉球大学の先端医学研究センター。
日々の研究を支える、
高除菌力と使い勝手に優れたセリウスソフト水。

1950年に戦火で灰燼に帰した首里城の跡地に沖縄唯一の総合大学として開学し、1972年の沖縄の本土復帰により国立大学として生まれ変わった琉球大学。沖縄の豊かな自然・歴史・文化を生かした教育・研究を強みに、これまで9万人を超える卒業生・大学院修了生が沖縄県内外で活躍しています。2025年1月に大学病院、4月に医学部を西普天間キャンパスへ移転。沖縄健康医療拠点の中核として高度な教育環境が整備され、日々先端研究が行われています。

2

高度医療・研究機能の拡充を図るなか、沖縄科学技術大学院大学をはじめ他大学・他施設の動物実験施設にOSGのセリウスが導入されている実績を評価されて、琉球大学医学部先端医学研究センターの動物実験支援分野にも採用されました。「動物実験において信頼性や再現性が重要となるため、品質・衛生管理面でセリウスが活躍してくれています。以前は市販の消毒液を希釈して使用していましたが、セリウスは蛇口をひねるだけという手軽さが魅力。各部屋はもちろん、廊下はタイマー管理で噴霧し、場所に応じてスプレーガンで柔軟に消毒しています」と使用感に納得の様子。今後、世界的な競争力を持つ先端研究の先に、琉球大学から社会的インパクトが創出される日もそう遠くはありません。

琉球大学
医学部先端医学研究センター
沖縄県宜野湾市字喜友名 1076 番地
☎ 098-894-1301 (代)

1. 沖縄健康医療拠点の核を担う先端医学研究センター　2. スプレーガン使用の様子　3. 高機能のセリウスソフト水（弱酸性次亜塩素水溶液）がハイレベルな研究環境を支えます　4. 廊下の天井に設置された噴霧器。タイマー管理で１日３回噴霧して衛生を維持　5. スプレーガンを使用しながら消毒効果を発揮

5

4

3

食品カットの様子

南州高山ミートセンター

鮮度と安全が世界レベル 徹底した衛生管理を誇る 鹿児島のミートセンター

アジアをはじめ、世界各地より食肉処理事業者が視察に訪れる南州高山ミートセンター。2000 年の設立以来、ＯＳＧの衛生管理製品が鮮度と安全を支えています。

かごしま黒豚をはじめとするブランド豚・牛の生産・処理・加工・販売を一貫体制で行う南州農場グループ。処理部門を担う高山ミートセンターは自然豊かな農場で育てられた豚を屠畜・カットする工場であり、徹底した衛生管理と培われた高い技術に定評があります。約100名が働く工場では、肉文化の先進地であるヨーロッパの処理システムを導入し、1日500頭の食肉生産を実現。その後、加工場で黒豚ハムやソーセージなどに製品化され、全国の百貨店や飲食店へと出荷されます。一貫体制の下、おいしさと安全のカギを握る処理工程で欠かせないのが鮮度と衛生。2004年にＨＡＣＣＰ（食品衛生管理の国際標準）を取得するほか、2007年に食品安全国際規格ＩＳＯ22000、2015年にはさらに食品防御などの安全項目が定義されたＦＳＳＣ22000の認証を受けています。ハイクオリティの衛生環境を整えるなか、設立した2000年よりセリウス2台がフル稼働。2025年夏には内1台を進化したガーディアンロックに取り替え、よりハイレベルな衛生管理を保っています。「主にと畜後のカットした枝肉に噴霧しており、1頭あたり20Ｌの次亜塩素酸水を使っています。拭き取り検査をしてもほとんど菌が検出されないため、皆様に安心安全な食肉を提供するためには欠かせません」。

佐多農場

本社社屋

協同組合　南州高山ミートセンター
鹿児島県肝属郡肝付町前田 3550
☎ 0994-65-3161

東京大学大学院農学生命科学研究科 OSG国際防疫獣医学寄付講座

2021年11月にOSGコーポレーションの寄付により東京大学大学院農学生命科学研究科 OSG国際防疫獣医学寄付講座が設立されました。本寄付講座はアジア諸国との国際連携・国際貢献を視野に次の内容に取り組んでいます。同研究科の感染制御学研究室および産業動物臨床研究室と協力し各種動物感染症の防疫とアジア諸国の獣医学教育の発展にも取り組んでいます。

2025年9月24日にはOSG国際防疫獣医学寄付講座、第三回公開講座「アジアの動物感染症への挑戦（Ⅲ）」を開催しました。

寄附講座の概要

大学名　東京大学大学院農学生命科学研究科

講座名　OSG国際防疫獣医学寄付講座

担当教員　特任教授 芳賀 猛（感染制御学）猪熊 壽（産業動物臨床学）
特任教員 藤本 悠理（疫学・感染制御学）
前澤 誠希（産業動物臨床・獣医学衛生学）
特任研究員 石橋 朋子（国際獣疫行政）

開設期間　2021年11月1日～2031年10月31日

研究目的

アジアでは、人口増加と共に畜産の急速な発展と集約化に伴い、動物感染症が蔓延し、安全な畜産物の安定供給、畜産の持続可能性を脅かしています。本寄付講座は、アジア諸国との国際連携や国際貢献を視野に動物の感染症防疫に関する学術研究の発展と獣医学教育の質の向上を通じた人材育成と畜産業の振興を目的として開設しました。獣医学のあらゆる分野を通じて、学術・教育・産業に幅広く貢献していきます。

動物の感染症防疫に関する学術研究の発展　獣医学教育の質向上を通じた人材育成　畜産振興

Hygiene company

食のOSG

OSGが活躍するさまざまなスポットをご紹介！

PICK UP OUR BRAND

水にこだわる高級食パン 銀座に志かわ

HOT NEWS

自家焙煎コーヒーとのペアリングを提案 新業態を始動

株式会社銀座仁志川は、２０１８年に銀座本店をオープンして以来、独自のアルカリイオン水を使用した「水にこだわる高級食パン」で展開してきました。２０２５年、自家焙煎コーヒーとのペアリングを提案する新業態「ＧＩＮＺＡＮＩＳＨＩＫＡＷＡＣＯＦＦＥＥ ＲＯＡＳＴＥＲＹ」を始動しました。

３月31日には、都内初のセミオート焙煎機を導入した築地店がリニューアルオープン。続く10月15日には、イートインを併設した「食パンカフェスタンド」として三田慶應大前店がリニューアル。そして11月21日、「東京のブルックリン」とも称される蔵前エリアに「食パンカフェレストラン」が誕生しました。

三田慶應大前店

築地店

築地焙煎所の備長炭と同等熱量のサイフォンで仕上げたフルーティーな「銀座に志かわスペシャリティコーヒー」と、焼きたて食パンの贅沢な体験です。

代表メニューには、日本の食文化である漬物の奈良漬、新生姜、しば漬けを使用した個性的なたまごサンドイッチ４種や多彩なオープンサンド、蔵前店限定のモーニングプレート・ランチプレート・スイーツメニューがあります。

お客様からは、和モダンな落ち着いた空間で、香り高いコーヒーと耳まで柔らかい食パンが織りなす「一口の余韻」を気軽に楽しめると好評を得ています。

蔵前店モーニングプレート

カフェラテ

たまごサンド４種

食パン 銀座に志かわ

銀座に志かわ
運営会社：株式会社銀座仁志川
東京都中央区銀座１丁目27-12
キャビネットビル

銀座に志かわ グローバル展開へ 日本の食文化を世界の食文化へ

銀座に志かわ上海 興業太古汇店

上海の中心地に位置し、ブランドショップやオフィスビル、マンションを併設した複合施設の地下飲食モールに２０２５年９月、銀座に志かわ上海興業太古汇店がオープンしました。

同店は複合施設のオフィスで働く約８０００人のビジネスマンに昼食を提供できる大規模カフェレストランです。

銀座に志かわの高級食パンを朝食セット、ランチ、ティータイムセットなどで楽しんで頂けます。オープンして約半年が経過し、各種食パンは勿論、ランチではすき焼きうどん、カレーうどん、明太子パスタや海鮮スープなどと一緒に食パンを味わって頂いています。また、サンドイッチ各種も人気を博しておりイートインだけでなく、テイクアウトやフードデリバリーなどでの注文も増えています。今後更に、メニューの充実を図り、中国での銀座に志かわブランド拡大、食パン文化普及に貢献すると共にカフェレストランとしての業態確立を進め、多くの方々に美味しさと憩いを提供出来る店づくりを目指して参ります。

GINZA NISHIKAWA

HOT NEWS

極美〝ナチュラル〟食パン SAKImoto bakery

麦の香り、自然な甘み、
とけるような歯切れの良さ。
喉越しの滑らかさを追求。

大阪・難波エリアに複数の拠点を構える「ＳＡＫＩｍｏｔｏｂａｋｅｒｙ」は、２０２５年度、テレビをはじめとしたメディア露出の増加もあり、多くのお客様に足を運んでいただく一年となりました。隣接する〈大阪初號本店〉〈ベーカリーカフェ 大阪初號本店〉〈嵜本珈琲焙煎所〉、そして〈ＳＡＫＩｍｏｔｏｂａｋｅｒｙａｎｄｍｏｒｅ扇町店〉の４店舗には、普段使いのお客様に加え、観光を目的とした来店も増加。来客数の伸びとともに、ブランドとしての広がりを実感する年となりました。

難波エリアでは、ベーカリーカフェでモーニングを楽しんだ後に食パンを購入し、パンと自家焙煎珈琲を手に店前のベンチでひと息つくなど、複数店舗を回遊しながら楽しむスタイルが定着しています。写真を撮りながら、日常から少し離れた時間を味わう観光客の姿も多く見られます。

初號本店では、定番の食パン商品に加え、月替り限定食パンなど新商品も継続的に展開。嵜本珈琲焙煎所の自家焙煎珈琲、ベーカリーカフェのメニューとあわせ、各店舗の個性が相互に作用し、体験価値を高めています。

また、「ベーカリー×スイーツ」を掲げる〈ａｎｄｍｏｒｅ〉は、水を使わず牛乳のみで仕込むクロワッサンをはじめとした新スタイルが支持され、２０２６年中には新店出店を予定。ＦＣ募集も開始しました。嵜本ベーカリーは今後も、大阪発の食体験を軸に事業の広がりを目指していきます。

嵜本珈琲焙煎所

SAKImoto bakery ベーカリーカフェ

いちごミルク食パン

サンドイッチ

初號本店

モーニング

SAKI moto bakery

SAKImoto bakery
運営会社：株式会社 SakimotoBakery
大阪府大阪市浪速区難波中 2-3-18　3 階

HOT NEWS

昭和32年に創業して以来、多くの方に愛され続けてきた 元祖五十番神楽坂本店

株式会社Ｄ＆Ｄ（Dragon＆Dining） 中華総菜　新工場始動

株式会社Ｄ＆Ｄは昭和32年「元祖五十番神楽坂本店」の屋号で創業を開始、中華総菜の食品製造に加え店舗やオンラインショップの運営も行っております。ホテルやレストラン、高級中華料理店への卸販売も行っており、お客様のご要望に応じた特注のオリジナル商品やカスタマイズ商品の製造も手掛けるなど幅広く事業展開しております。

店舗「元祖五十番神楽坂本店」は、美味しさを追求し続け68年の歴史。

旧大森工場の7倍の生産能力を備えた新工場が２０２５年８月８日に稼働を開始いたしました。従来と比べより効率化を図り、さらに衛生的、安定的かつ柔軟な供給体制を構築出来るようになりました。

商品はこちらのサイト
からもご購入いただけます

三角ちまき

小籠包

元祖肉まん

中華総菜　新工場

元祖 五十番 神楽坂本店

元祖五十番神楽坂本店
運営会社：株式会社 D&D
東京都新宿区神楽坂 6-4

Ildong Healthcare社　本社

From Korea

薬の製造・販売を行うからこそ水の重要性を今一度考える

会社名：Ildong Healthcare Co.,Ltd　（日東製薬）
本　社：大韓民国　ソウル市
ＣＥＯ：Jerry Han

ＯＳＧコーポレーションとは、２００３年５月から戦略的業務提携を締結しました。販売製品については、我々から韓国マーケットのニーズや我々からの要望をお伝えし、ＯＳＧコーポレーションの豊富な経験と技術力を活かして、弊社オリジナル（ＯＥＭ）製品を開発頂き販売開始致しました。

アルカリイオン整水器は韓国においても、日本同様、医療機器として認証されています。我々は命を預かる薬を製造・販売しております。薬同様、医療認証を受けているアルカリイオン水も人間の健康にとってとても重要と考えております。

国民の健康を願い、その役に立つ商品を提供する事が弊社の使命であり、当社（日東製薬）がアルカリイオン整水器を販売することは、ごく自然な流れであり、必然的なことと考えます。

昨年はＯＳＧコーポレーションの創立55周年記念式典にご招待頂き、盛大さに深い感銘を受けました。経営も多角的に展開され、大阪・関西万博にも多くの製品を設置されているなど、益々のご活躍を期待しております。

本年から通算６機種目の製品となります、「ＨＵ―60」の販売を開始致します。これからも両社で協力し、韓国マーケットにアルカリイオン整水器を拡販して参ります。

HU-60

From Singapore

最先端の革新的な製品が我が国のお客様のニーズに応える

会社名：ERNST ASIA PACIFIC PTE. LTD.　　ＣＥＯ：BERNHARD JOSEF ERNST
本　社：シンガポール共和国　シンガポール

２０１４年に設立されたＥＲＮＳＴ ＡＳＩＡ ＰＡＣＩＦＩＣ ＰＴＥ．ＬＴＤ.は、ＥＲＮＳＴグループのシンガポールおよび東南アジア地域のマーケティングと販売を担当しています。私たちＥＲＮＳＴグループは、１９９３年に香港で設立され、空気と水に着目しドイツ製の空気清浄機能付き掃除機の販売から始めました。

また水も人間の生活に不可欠なものです。人体に大きな影響を与え、健康の基礎は水から始まります。

ＯＳＧコーポレーションとは２０２１年２月より取引を開始し、ＥＴＩ８００Ｓの販売を開始致しました。

日本で生まれたアルカリイオン水は現代人の健康の土台を創る上で非常に有効と考え、日本の専門メーカー何社とも会い、その中でＯＳＧさんと出会いました。ＯＳＧコーポレーションは浄水器に関しても多くの経験と実績を持ち、更に電気分解にも高い技術と経験があり取引させて頂く事としました。

最先端の革新的な製品をお届けする事でお客様の健康の向上に尽力し、お客様を第一に考え、お客様の健康と安全は、私たちにとって最優先事項です。私たちは常に卓越性を追求し、高品質な製品がお客様のニーズに完全にお応えできると確信しています。　そのためにＯＳＧコーポレーションは、私たちにとって欠かせないビジネスパートナーです。創立55周年の記念式典にご招待頂き、川越工場にもお招き頂き、今後も益々パートナーシップを強め末永く取引して参りたいです。

来社時の様子

創立 55 周年式典参加の様子

OSG が掲げるサステナビリティ目標

中期経営計画の策定にあたり、「社会課題」と「OSG グループの経営の重要度」を総合的に網羅した重要課題（マテリアリティ）を選定いたしました。
各課題を４つのカテゴリーに分け、クリアするための目標を「サステナビリティ目標」として掲げております。
本目標を達成し、サステナビリティを通じて社会と企業の持続的成長の両立を目指してまいります。

重要課題（マテリアリティ）

- ステークホルダーのエンゲージメント向上
- サステナビリティを志向する企業風土づくり
- 人材育成とダイバーシティの推進
- カーボンニュートラルの実現
- 安心安全で豊かな社会の実現

重要課題（マテリアリティ）

健康経営優良法人 2026（大規模法人）認定を取得しました。

2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

グリーン共創 EXPO2026
～共創を競争しよう！～

SDGs KYOTO TIMES

主催：総合地球環境学研究所グリーンナレッジセンターなど
共催：文部科学省、経済産業省、環境省、京都市など

2026 年 2 月 13 日（金）・14 日（土）

環境問題を解決し、持続可能な社会にするために、産学公民が協力しあったり、地域・組織間で連携したりするなどして、共創により、創造的なアプローチを行っている事例（英知）を集め、学びあう場である「グリーン共創 EXPO」。
給水がインフラになる日～万博・オフィス・大学・地域等における挑戦～というテーマでのセッションに弊社毛洲が登壇しました。

「コエエコ」コンテスト 2025

使い捨てから生まれたゴミには何があるのか考え、
自分だけの「ステハジ」アートを作ってみよう！

条件：使い捨てから生まれたゴミを使用すること

今回の「コエエコ」コンテスト 2025 は、そのまま捨てる予定のごみを使用して、自分だけの「ステハジ」アートをご応募いただきました。
「ステハジ」プロジェクトでは、「コエエコ」コンテスト（「ステハジ」アート体験）を通して、海洋プラスチックごみ問題や、使い捨てから生まれる社会課題について、ご参加いただきました皆様と共に啓発の輪を拡げてまいります。

業界初の「訪問回収型 衣類循環」プロジェクト始動

ステハジ Re-Action

Re-Action

JEPLAN × SANYEI CORPORATION × OSG

資源に戻す　製品に変える　製品を届ける

資源に変える → 製品を届ける → 製品に変える → 資源に戻す

使い捨てや大量消費から生まれる衣類などの資源課題（水資源の消費や汚染、大量生産、消費、廃棄）を
個人・企業・自治体・団体・教育機関・プロスポーツクラブとの共創で、新たな資源循環を目指し、
企業や個人の行動変容・習慣変容に取り組むプロジェクトを開始。「ステハジ」EXPO2025 にて発表しました。

～ 気候変動啓発 ～

捨てると燃える（焼却処理） → 燃えると増える（CO_2） → 増えると上がる（気温）

衣類回収
OSGコーポレーション メンテナンス社員が
OSG製品ご利用ユーザーへ

使命役割
新たな資源循環を目指し、
企業や個人の行動変容･習慣変容への啓発
全世代へのサステナブル体験

製品共有
衣類回収をつなぎ届ける
衣類回収を、さまざまな製品に変えて届ける

発表の様子は
こちらから視聴できます。

お水と、あなたと、つながる「OSG 公式アプリ」はじまる

サポートも、おトクも、スマホひとつで。

OSG アプリは、あなたの“お水ライフ”を見守る心強いパートナーです。

OSG アプリは、フィルター交換やお手入れ方法、担当者への連絡など、日々の「困った」等をスマホでスムーズに解決できるサポートツールです。年に一度のメンテナンス時には、スタッフがその場でインストールをお手伝いします。
公式ホームページと連動して最新情報をすぐに確認でき、SNS やお水を利用したレシピ紹介など日々の暮らしに役立つ機能も充実。毎日楽しめるガチャや、抽選応募ができるポイント機能もあり、ちょっとうれしいお得感も。トラブル時も迷わず対応できる安心感があり、情報とサポートがこのアプリひとつで完結します。

担当者への連絡がワンタップ
デイリーガチャでポイントゲット
魅力的なコンテンツ

App Store からダウンロード
Google Play で手に入れよう

https://yappli.plus/osg-nandemonet_flyer

「Newsweek 日本版」SDGs アワードにおいて「ステハジ」プロジェクトが「環境部門」受賞！

メディアが広く伝えれば、共感を生み、新たなアイデアにつながり、社会課題の解決に近づいていく――。
ニューズウィーク日本版が立ち上げた「SDGs アワード」には、企業規模も SDGs に取り組む体制もさまざまな日本各地の企業が参画しています。
日本では、プラスチック容器包装ごみの排出が日常に深く組み込まれています。国連環境計画（UNEP）の報告書では、日本の 1 人当たりプラスチック包装ごみ排出量は年間約 32kg と示され、米国に次いで世界的に高い水準とされています。便利さの裏側で「使い捨て」が当たり前になっていないか――。
今、その前提そのものが問われています。

2025 年の SDGs アワードにて、OSG コーポレーションの「ステハジ」プロジェクトが環境部門を受賞しました。
受賞対象となったのは、大阪・関西万博で起きた「1200 万回」の行動変容 … 使い捨てから「マイボトル給水が新たな選択へ」――「ステハジ」体験型啓発です。大阪・関西万博初日、給水スポットを利用する多くの人は、空のペットボトルを手にしていました。しかし 1 カ月後、マイボトルで給水する人が過半数を占めるようになり「マイボトル給水」という行動がしっかりと定着していった取り組みが認められました。
「ステハジ」プロジェクトはこれからも様々な活動を行なって、日本だけではなく世界へ発信していきます。

Newsweek SDGs Awards 2025

SDGs Awards 2025 環境部門賞 Newsweek

「2025 J リーグシャレン! AWARDS」アビスパ福岡が受賞「ステハジ」プロジェクトも表彰

OSG コーポレーションの表彰は、アビスパ福岡が受賞した「TAKE ACTION Week ！」において、OSG コーポレーションが「ステハジ」プロジェクトの取り組み（「ステハジ」セミナー、「ステハジ」ビーチクリーン、「ステハジ」プラ干狩りイベントなどの体験）を、アビスパ福岡に加盟するシャレンパートナーと共創・実施し、その輪を広げたことが評価されました。

熱中症予防声掛けプロジェクト ひと涼みアワード 2025 業界唯一 10 年連続最優秀賞受賞

2015 年より本プロジェクトに参加し、その優れた取り組みが評価され、「熱中症予防声かけプロジェクトひと涼みアワード 2025」の【企画・アイディア部門】で最優秀賞を受賞しました。これにより、業界初となる 10 年連続での最優秀賞受賞となりました。また、OSG グループ株式会社ウォーターネットが、熱中症予防啓発で最も優れた取り組みを行った企業に贈られるトップランナー賞（企業部門）を受賞いたしました。ウォーターネットのトップランナー賞の受賞は「ひと涼みアワード 2022」での受賞に続き２回目です。

HEROs
公式 HP

HEROsPLEDGE
公式 HP

井本 直歩子 氏

アトランタ五輪競泳元日本代表。現役引退後はJICAやユニセフで活動、ルワンダやスリランカ等をまわり平和構築と子供たちの教育支援に従事した。現在は一般社団法人SDGs in Sports代表として環境問題に取り組む。

HEROs PLEDGE
スポーツ界から使い捨てプラごみをなくそう

HEROs PLEDGE のアクション
①スポーツ界から行動を変える
②社会を変えるムーブメントを起こす

「OSGさんの「ステハジ」プロジェクトとの共創があって磐田のフェスがここまで胸を張れるものになりました」

トップアスリートがスポーツの力で社会課題に取り組む団体「日本財団HEROs」をご存知だろうか。そこから環境問題に特化しプラごみゼロを目指すプロジェクト「HEROs PLEDGE」を立ち上げた元競泳日本代表の井本直歩子さんにお話を伺った。その真剣な思いとは。

「引退後に紛争下の子供たちを支援し2018年から環境問題を学んで、これから大変な世の中になると実感しました。今やっていることを他の人に任せてでも全力を注がなければ、地球が危ない、人類の危機だと。そこでスポーツという文脈を使い環境を守る活動をやっていこうと決意しました」。

そんなときHEROsの枠組みと出会い環境問題に関心のあるアスリートや高い志を持つ頼もしい仲間と知り合うことができた。ただ課題もあった。「環境への危機感を訴えようとしても一人でやるには勇気がいる。確信が持てないことが多い分野ですし批判の対象にもなりやすい。だからアスリートが共に学び、みんなで情報や知識を共有して発信力をさらに高められる枠組みが必要だと考え、日本財団と共にHEROs PLEDGEを立ち上げました」。

多くのアスリートの中で好循環が生まれている！「高梨沙羅さんとは以前から環境の活動をやろうと話をしていて枠組みができたからこそ、さらに活動が広がったと思います。彼女も自分でプロジェクトを立ち上げて学校を訪問したり子供たちの環境への発案をサポートしたり、それを世界の人に知ってもらうためにワールドカップの大会場ではブースを出しています。五郎丸歩さんからは環境に優しいフェスを実現したいと相談を受けてプラごみ削減に取り組んでいるOSGコーポレーションさんを紹介しました。彼も子供たちの未来を真剣に考えて学びを重ねているお一人ですね。私も一緒に子供たちの学びをサポートしましたが長期間かけた成果は社会を動かせると感じました」。

〝使い捨ては、恥ずかしい〟「ステハジ」プロジェクトを提唱するOSGコーポレーションは私たちとの親和性が高い、今後も重要なパートナー企業。「横浜F・マリノス対リヴァプールFC戦のスタジアムにビーチクリーンが擬似体験できる〝プラ干狩り〟のブースを出展されたのが印象的でした。同業他社を巻き込む考えと企業理念が素晴らしい。先見性があって社会変革を起こせるプロジェクトですし、競争ではなく共創を重んじていることにも共感できました。思うにみんなプラごみを減らす必要性を頭では理解しているんです。でも実際には給水スポットが少ない。水の供給スタイルが当たり前になればマイボトルを持参する行動様式に変わっていくでしょ、それが目標の到達点です」プラごみの削減はあくまでもエントリーポイント。

「何より脱炭素が大事ですが化石燃料を一切使わない社会経済の実現はあまりに遠い話。でもペットボトルは時代遅れという流れには逆らえないはずです。堂々と正論を言えるのはアスリートだと信じますし、磐田のフェスで大事なピースを埋めていただいたOSGコーポレーションさんと一緒に今後も正しいことを発信していきたいですね」。

Special Talk
五郎丸 歩 氏

ラグビー元日本代表の五郎丸歩さんと EXILE AKIRA さんがプロデュースした音楽フェスは、1 万人以上の来場者を集めて大いに盛り上がった。イベントでは、音楽を楽しむ以外にも気候変動をテーマに盛り込み、地球や子供たちの未来を考えるなど、単なるイベントの域を超えた壮大なプログラムでもあった。

Iwata Seaside DREAM Fes 2025

2025 年 11 月 8 日（土）・9 日（日）の 2 日間 静岡県磐田市　浜松シーサイドゴルフクラブにて開催

夢を実現した大人たちが磐田市に恩返し 子供たちと未来に向けたメッセージとは

「ラグビーを通じて長年お世話になった磐田市にスポーツ現場以外で恩返ししたいという思いがありました。」そんなとき磐田市出身のAKIRAさんと出会い、それぞれが得意のスポーツと音楽を組み合わせたイベントの構想が生まれた。「スポーツの街でもある磐田のブランドを継承するためにも何かをプラスしないといけないと個人的に感じていました。どんなものを掛け合わせても、大事にしたかったのは子供たちの夢や活躍の場でした」。

そこでHEROsPLEDGEを通じて学んだ気候変動問題への意識を、子ども達や来場者に伝えるアイデアが浮かんだという。

「我々は、出演者を含む運営スタッフへイベント会場のプラごみをゼロにするためペットボトルの提供を取りやめ、主催者側でウォーターサーバーを用意するのでマイボトルを使って下さいと提案しました。すると環境配慮に日頃から取り組まれている出演者の皆さんからも『今後はこの運用でいいのではないか』と評価いただき、未来に向けた事例を作れたため、大きな一歩になったと思います」。

また気候変動アクションとして、次世代を生きる子供たちがインプットからアウトプットまで進行したことは他のイベントとは違う点だった。「9ヶ月にわたる勉強会やトライアル、フェスの中での気候変動アクションを実施し、子供たち自身が講演会や体験を通じて学んだ気候変動への課題をまとめ、政策提言として行政や民間企業へ伝えるまでを、一つのプログラムとして構築しました」。

一連のアクションに賛同したOSGコーポレーション（「ステハジ」プロジェクト）は、一過性に終わらないプラごみ削減を実現するため、勉強会の段階から参加。子供たちがサステナブルとは何かを理解できるようサポートした。さらにフェス当日は各メーカーの協力のもと、ウォーターボトル1200Lとマイボトル250本を運営スタッフに提供し、環境に配慮する行動変容のきっかけを作った。マイボトルは、象印マホービン／タイガー魔法瓶／ピーコック魔法瓶工業／ポケトルが協賛。

ジュビロ磐田CROとしてプログラムに携わった山田大記さんも、会場の熱量を感じつつ地球への危機意識を再認識した一人だ。「環境への取り組みはサッカー界でも課題で、気候変動の問題解決のためのアクションを数値化する取り組み『SportPositive Leagues（SPL）』が2026年にスタートします。Jリーグの事務所に紙コップを置かない、マイボトルで、というふうに変わってきています。僕個人が分別するだけでは社会は変わらないですが、小さなアクションが民意を動かすと信じます。今回の取り組みを通じて学生さんたちが人として成長したのを間近で感じました」

9ヶ月にわたって学んだ静岡文化芸術大学の皆さんも、多くの気づきを語ってくれた。「水がなくなったら買うのが当たり前でした。でも給水スポットとマイボトルがあれば便利でゴミも減る、ということに気づきました」「プラごみは汚れたら燃えるゴミになることを初めて知りました。今は洗って捨てています」。

学生は、社会を動かすには自分が何かやらなきゃ、という気持ちが芽生えたと語ってくれた。また、学生ボランティアスタッフはこれまで学んだことを「分別は未来への仕分け」「待ち時間を未来のための時間に」などをテーマに提言として発表した。

設置したウォーターサーバー

ジュビロ磐田 CRO
山田 大記氏

ボランティアスタッフ

Iwata Seaside
Dream Fes 2025
公式 HP